

「安心生活創造事業」 一人暮らし世帯等の基盤支援の充実

家族のサポートが期待できない「一人暮らし世帯等」への基盤支援

○58市区町村の参加により以下の目的と3つの原則を充たした地域福祉プログラム「安心生活創造事業」を実施。国と市町村が協働して効果検証を行うとともに、全国に情報発信する。

今後地域に
必要な
サービス

○家族のサポートが期待できない一人暮らし世帯等

・基盤支援を行うことで、一人暮らし世帯等が地域で安心・継続して暮らせる

○基盤支援は「見守り支援」と「買物支援」

・安否確認や生活の異常等の察知・早期対処といった「見守り」

・生活維持に不可欠な「買物支援」が必要買物代行よりむしろ「宅配」の活用支援(情報提供等が可能)を進める

三つの原則

○地域の実情に合わせたプログラムを実施

①基盤支援を必要とする人々とそのニーズを把握する

②基盤支援を必要とする人がもれなくカバーされる体制をつくる

③それを支える安定的な地域の自主財源確保に取り組む

安心生活
創造事業
体制
イメージ図

社会福祉協議会

主任

訪問員

訪問員

市福祉担当課

商工観光課

地域振興課

チーム会議

市民生活課

結いっこサービス
食事確保(宅配サービス
代筆・代行、不安解消・
情報提供等)

商店街

まちづくり
NPO

訪問
生協
農協

有償のサービス

本人

近隣住民

ボランティア

小地域福祉ネットワーク
(無償の支え合い活動)

福祉委員

民生委員

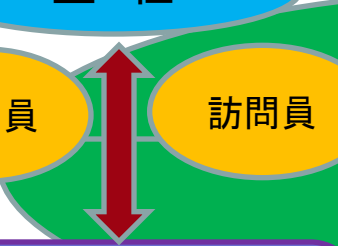
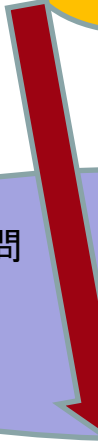
自治会・町内会

新聞配達員

郵便配達員

老人クラブ

電気・ガス・
水道部局



大仙市の「安心生活創造事業」

◎高齢者実態調査による「生活支援調査」と「避難支援調査」

- ・地域福祉支援システムを購入し高齢者情報をデータ管理する。
- ・自立していて元気だけど家族の支えがなくて生活課題を抱える人
- ・災害時要援護者として自力で避難できない人の把握、現在自治会長へ協力員を要請。

◎サービスの実施主体を市社会福祉協議会へ委託

- ・サービス主任を置き、サービス供給体制を調整している

◎ゾーンを大曲地域と西仙北地域に設定 先行サービスを実施

- ・ゾーンの対象区域を西仙北地域と大曲地区の二カ所を設定
- ・対象者を選定し、有料の契約による「結いっこサービス」を提供開始

◎生活・介護サポーター養成事業により訪問員(サポーター)を養成

- ・サポーター養成研修(20時間)終了者を訪問員として活用し事業の推進を図る
- ・昨年35名、本年38名のサポーターを養成。訪問員として活躍している。

◎地域福祉シンポジウム・地域福祉セミナーの開催

- ・昨年は地域福祉シンポジウムを、今年度は市内三カ所で地域福祉セミナーを開催

自主財源の確保

企業・商店等が「安心生活創造事業」を支援する地域貢献が、販売促進になり、イメージアップにもつながる関係づくり

安心生活創造事業

- 基盤支援の必要な人の発見
 - 見守り
 - 買物支援
-
- 地域の見守りを地域で支える
(「地域の福祉応援ファンド」)

宅配必要者・希望者の発掘

宅配の情報提供

発注書の記入支援

企業・商店

店頭や商品に
「私たちは「地域の福祉応援ファンド」を応援しています」

- 地域貢献
- イメージアップ
- 顧客・売り上げの増加

- 宅配サービスの提供
- 宅配時の声かけ、見守りの実施
- 「地域の福祉応援グッズ」の販売

宅配の件数、グッズの個数に応じた寄付等

訪問員やボランティアで参加

ワンコイン募金・寄付

グッズの購入など

住 民

「安心生活創造事業」今後の取り組み

原則1 基盤支援を必要とする人々とニーズのサービスの対象者の把握

- ◎高齢者独り暮らし世帯・高齢者世帯・高齢者と障がい者世帯の対象者把握
 - ・各地域の民生委員や市社会福祉協議会支所の情報をもとに、14地域に情報のネットワーク化を図る。
 - ・元気な高齢者の中から生活課題に困っている方々のニーズを把握する。

原則2 基盤支援を必要とする人がもれなくサービスがカバーされる体制をつくる

- ◎「結いっこサービス」が現在の2地域から市内14地域にエリアが拡大されます。
- ◎エリアの拡大に伴いサービスの担い手となる「訪問員」(サポーター)を養成します。
- ◎「宅配」による買い物支援サービスを実現するため「福祉協力店」を募集します。
- ◎災害時要援護者(個別計画対象者)名簿を自治会情報の共有化を行います。

原則3 それを支える安定的な地域の自主財源の確保への取り組み

- ◎地域福祉ファンドの創設
 - ・「地域福祉活動は市民が支えていく」という思いが大切
 - ・福祉グッズ、ふるさと応援基金、成人式・厄年・還暦の募金、
 - ・企業のイメージアップ(企業の地域貢献) クリスマスケーキ・バレンタインチョコなど

事業の取り組みで期待される地域の姿

1. 訪問員(サポーター)の存在

- ・自主的な社会参加の意欲を持つ有償ボランティアが結集

2. 買い物支援・宅配サービスの展開

- ・御用聞き商売による商店の宅配サービスの展開と声かけ・安否確認
- ・高齢者世帯や子育ての親を取り込んだ買い物支援サービス

3. 見守り支援のネットワーク化

- ・民間事業者を巻き込んだ地域の見守り支援のネットワーク
- ・新聞販売店、郵便、宅配便、水道・ガス・電気の検針時の安否確認

4. 自分の地域は地域のみみんなで創ろうという意識の高まり

- ・自分達が将来困らないように地域の支え合いの環境を今から作ろうという意識
- ・地域住民の多くが参加し取り組みを通じて地域福祉の裾野を拓けよう